

DV被害でお悩みの方へ

2026年6月1日

在ブリスベン日本国総領事館では、ドメスティックバイオレンス（DV）被害でお悩みの方からの相談を受け付けております。また、当館では本年6月1日より非営利団体「**MFO(Multicultural Family Organization)**」に対して、DV被害でお悩みの方への支援事業を委託しており、相談者は同団体で活動する日本人ケースワーカーから、法的アドバイス等を含む各種サポートを無料で受けることができます。

(在ブリスベン日本国総領事館 DV被害者支援事業委託先)

団体名：MFO(Multicultural Family Organization)-SARA Program

団体HPはこちら：<https://www.mfo.org.au/domestic-and-family-violence-sara>

連絡先：(E-mail) intake@saraprogram.org.au

(Phone) 0405 065 544 (月曜日～木曜日 09:00～16:00)

さらに、以下の関連団体はDV被害でお悩みの方に対する各種サポートを提供しておりますので、ご参考にしてください。

1 DV被害者支援団体

○日本国内（厚生労働省社会・援護局）

よりそいホットライン

<https://www.since2011.net/yorisoi/>

[困りごと情報提供フォーム](#)

・よりそいホットラインチャットは24時間書き込み可

・リアルタイムでのチャット相談：毎日16～22時（日本時間）

※妊娠、中絶、性的被害、DV、セクハラ、パワハラ、離婚などでお困りの女性の方のご相談は、毎週木曜日15～21時（日本時間）

○オーストラリア全土

(1) Australian Government - Services Australia

(これまで連絡したことが無い方) TEL: 132 850 (Employment Services line)

(これまでに Centrelink に連絡したことがある方) 通常連絡している電話番号

<https://www.servicesaustralia.gov.au/family-and-domestic-violence>

・Centrelink を介した経済的支援の案内

・ソーシャルワーカーによる相談対応

・適切な支援機関の紹介

(2) 1800 RESPECT (National Sexual Assault, Family & Domestic Violence Counselling Service)

TEL: 1800 737 732

<https://www.1800respect.org.au/>

- ・ 電話、オンラインチャットにて 24 時間体制でカウンセリング提供
- ・ 適切な支援機関の紹介

(3) WESNET (The Women's Services Network)

TEL: 1800 938 638

<https://wesnet.org.au/>

- ・ 被害者への携帯電話提供
- ・ 適切な支援機関の紹介

(4) Immigrant Women's Support Service (IWSS)

TEL: 07 3846 3490

<https://iwss.org.au/>

- ・ 緊急避難用のシェルター手配
- ・ ソーシャルワーカーによる相談対応
- ・ 支援機関への紹介

※2025年3月31日をもって日本人ソーシャルワーカーの勤務は終了しましたが、引き続き英語による相談は可能です。また、下記の参考事項の(3)にあるとおり、通訳サービスを利用したのDVホットラインもありますので参考にしてください。

2 参考事項

(1) DVの定義等については、下記IWSSのHP（日本語）に記載があります。

<http://www.iwss.org.au/wp-content/uploads/2014/11/Japanese-WhatIsDV.pdf>

<http://www.iwss.org.au/wp-content/uploads/2013/12/PC-Japanese.pdf>

(2) QLD 州政府作成のDVに関する日本語資料は以下の州政府HPをご覧ください。

https://www.qld.gov.au/__data/assets/pdf_file/0020/133166/dfv-japanese-brochure-everyone-has-the-right-to-feel-safe-at-home.pdf

(3) ソーシャルワーカーからのメッセージ

- ・ DV被害者が知っておくべき点 DV 被害を受けているかもしれないと思っている方は「一人ではない」。

- ・あなたの話を理解し、サポートできる人が周りにいるという事を忘れないでください。
- ・DVは暴力、暴言にて危害を加える事を選択した加害者本人の責任であり、そのターゲットにされた被害者は悪くありません。
- ・各州に1800で始まる無料のDVホットラインがあります。24時間対応の所も多く、通訳サービスを利用して話を聞いてくれます。
- ・DVサポートサービスには守秘義務があります。差し迫った命の危険がない限り、相談内容が本人の許可無しに外へ漏れることはないので安心して相談できます。
- ・DVかどうかわからない場合でも相談してください。自分で判断する必要はありません。
- ・身の危険を感じたら警察に連絡してください。その際に、必要があれば通訳を依頼したいこと、相手がいなくて話したいこと等の要望も伝えてください。
- ・「シェルター」または「レフュージ」と呼ばれるDV被害者用の避難所もあります。永住権や収入がなくても入居出来ます。
- ・相談後、Safety Plan という安全に逃げ出すためのプランをたてる。日記をつける。自分で警察に電話ができない場合は、信頼できる友人、ご近所又は子供（成長していれば）と予め「合言葉」を決めておき、必要な時に警察に連絡してもらう。

お困りのことがありましたら、在ブリスベン日本国総領事館までご連絡ください。

電話番号：[\(07\) 3221 5188](tel:(07)32215188)

Eメール：consular@bb.mofa.go.jp

事務所住所：[12 Creek St, Brisbane Queensland 4000](https://www.google.com/maps/place/12+Creek+St,+Brisbane+Queensland+4000)